

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

大般若会大施食会報告

令和元年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/10

- 大般若会大施食会法要
- 春彼岸会 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 龍源寺本堂落慶法要
- 6/22~6/23

- 第57回群馬緑蔭禅の集い
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
- 京浜地区檀信徒棚経
- 8/1~8/2(一泊二日)

- 第38回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 10/27 檀信徒研修旅行
- 11/25

- 宗務所布教部「禅をきく会」
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

※毎週水曜日 定例坐禅会
 ※隔週水曜日
 梅花講・華道教室

本年も総代世話人様はじめ多くの皆様のご協力を以て、大般若大施食会、花まつり等伝統の行事をつとめることが出来ました。また、綺麗に花開いた「五輪櫻」の案内ボランティアを総代人の皆様方、矢島さん、加藤さん、小澤さん、金井さん等にご協力を戴き、本年も1,000名を超える観桜者が来山いたしました。有難うございました。

本年の大般若会法要では、式に先立ちまして当山ともご縁のある秋葉美果さん、吉岡裕子さんによるヴァイオリンとピアノコンサートを実施。秋葉先生は、東京藝術大学より群馬交響楽団へ進み、現在同団の第二ヴァイオリン首席奏者をつとめており、昨年梅花流詠讃歌群馬県奉詠大会でも、その演奏をご披露して下さいました。

また、法要前に、本年再々表具を施した高崎市指定重要文化財の涅槃図及び誕生図の開眼会法要とご披露を、浄財寄進施主の小橋照子様ご臨席のもと縁に繋がる皆様方と共におつとめいたしました。

今年も100名を超える多くの参詣者が集い、東京横浜千葉等、遠方から見えられた方も数多くおられました。有難うございました。



仏画2点 220年ぶり修復 吉井・仁叟寺



高崎 高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓司住職)は、毎年恒例の法要「大般若会大施食会」を同寺で開いた。220年ぶりに修復された市重要文化財の「涅槃図」と「誕生図」が修復後初めて披露され写真、檀家ら150人が安泰の願いを込めた。両図はこの日、本堂に掲げられた。渡辺住職は「今回だけ二つの仏画を同時に公開した。協力してくれた方に感謝したい」と話した。関係者は「見事にきれいになった」などと感嘆の声を上げた。

↑大般若会での清興、コンサートの様子
 ←上毛新聞記事

仁叟寺末寺、龍源寺新本堂落慶法要圓成



↑落慶法要当日の龍源寺新本堂

落慶法要導師をつとめられた仁叟寺住職 ↑



↑仁叟寺住職の孫・渡辺諒道君の得度式も併せて修行されました

仁叟寺の末寺の一つであり、現在仁叟寺副住職が30世住職をつとめます吉井町多胡地区に所在する龍源寺。新本堂の工事が完了し、本年4月29日に落慶法要が本寺仁叟寺住職渡辺啓司老師ご導師のもと修行されました。法要に併せまして、住職の孫になる現在多胡小学校5年生の渡辺諒道君が、仏門に入る第一歩となる儀式である得度式もつとめられました。

当日は、来賓寺院として前橋市長昌寺栗木信昌老師、高崎市向雲寺山内謙三老師はじめ近隣の御寺院様25箇寺の皆様のご法助を頂戴致しました。また来賓として龍源寺開基家門奈氏ご末裔窪田広様はじめご親族の皆様方、地元白田幹男区長、施工に携わりました宮大工堂宮入秀社寺建築株式会社入内島秀男棟梁を中心

とした業者の皆様方、天井画を奉納された筑井孝子先生、達磨襖絵を奉納された新井慈観先生のほか、住職と高校時代の同級生であり仁叟寺大節分会でもご来山いただいております清水真人県議に、ご臨席を賜りました。（なお清水氏は、今夏の参院選に立候補を予定されております）。

龍源寺檀信徒を代表し、出牛裕一総代長をはじめ本堂建設委員会、護持会役員が中心となり、檀信徒はもとより親族、友人、参詣の皆様等、檀信徒数を有に超える120名程の方々のご参加を迎え、盛会裏に慶祝法要を勤めることが出来ました。

ほか仁叟寺檀信徒を代表し、矢島正義総代長、新井徳衛前総代長、向井敏昭総代人のご参列をいただきました。龍源寺では、開山以来凡そ380年振りの大法要となりました。無事圓成出来ましたことに、改めまして深く感謝の意を表します。合掌



右) 上毛新聞記事
左) 挨拶する清水真人氏



欣光閣前参道工事完了



左) 完成した欣光閣前参道
右) 工事作業風景



仁叟寺檀信徒会館「欣光閣」前より駐車場まで約50メートルの参道を新設いたしました。多胡石材産業株式会社が施工し、綺麗な石敷の参道が繋がりました。杖を使われる方、車椅子の方等バリアフリーに配慮し、参詣が出来ます。なお同工事には、齊藤照男、関口孝雄、榊原吉五郎、榊原良徳、茂木興太郎、金澤一彦、斉藤実、竹内政子、鈴木ミツ卫各氏による石塔開眼供養の浄財を充てさせていただき、ご芳名を参道に刻させていただきました。

境内照明灯LED改良工事完了

仁叟寺境内に数多く建てられております照明灯は、当山再中興開基・龍昇院殿欣光正悦大居士、サンコーグループ会長寺本欣正翁により寄進されました。その灯明が、故人の十七回忌に当たる本年、跡を継がれた寺本欣一治社長発願と寄進により、全てLED新型照明灯に交換し、更に新たに2基、設置していただきました。

先代の思いを引き継ぎ、自社賛光電器産業製の照明灯で、引き続き当山の境内全域を明るく照らしていただくことに感謝の意を表します。

新しい照明灯に交換(本堂前)



聖観世音菩薩尊像建立



仁叟寺十三重石寶塔脇に、高崎市龍見由三郎、洋子ご夫妻が浄財供養の施主となり、聖観世音菩薩尊像が建立されました。

同観音像は、国内富山高岡産の唐金製で総高5尺と大きく、白御影石製の台座に安置されております。令和元年5月に発願され、6月21日に開眼会供養法要が修行されました。また周囲の庭園整備も併せて行いました。

聖観世音菩薩の慈光が遍くふり注ぎますよう祈念し、また施主龍見様ご夫妻の尊い徳行に、深く感謝申し上げます。



第57回群馬緑蔭禅の集い圓成



↑ 精進料理をいただきます

6月22日～23日の一泊二日、群馬県曹洞宗青年会主催、第57回群馬緑蔭禅の集いが、仁叟寺を会場に修行されました。

40歳以下の若い県内曹洞宗僧侶が中心となり、同集いの企画、運営を行い、本年で57年目となる歴史ある坐禅会です。



↑ 坐禅堂での参禅風景

↓ 開講式で挨拶をする住職



県内外より45名の参加者が集い、また仁叟寺の総代人さん有志、参禅会員が参加されました。当山の恵まれた環境の中、参加者の皆様方が真剣に坐禅、写経、作務等の行事に取り組んでおりました。

元気里山再生事業報告

高崎市の里山元気再生事業が満期終了となり、本年より当山が中心となって行っております里山再生。古墳が多く遺されている歴史豊かなもみじ山の再生も、お蔭様で檀信徒総代人世話人を中心とした関係各位のご理解ご協力を賜り、順調に進んでおります。

6月2日に、本年第一回目のおてんま作業を行いました。7月以降も継続して作業をいたしますので、引き続き宜しく申し上げます。

また、昨年に境内のツツジの手入れをしっかりと施したところ、今年は大変綺麗な花を咲かせました。もみじ山も、小澤昇さんが中心となり山野草や福寿草の植栽を行っております。心に安寧とやすらぎを与える花々が、一年を通して開くよう、山内環境の護持に、これからもつとめて参ります。

境内欣正園のツツジ（5月）→



↑ \6月2日に行われたおてんま作業

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

本年5月より新元号「令和」に改元となりました。和たらしむ、穏やかで平和な世の中になる意の令和、初の寺報であります。また、平成最後の年4月29日に、自坊・龍源新寺本堂の落慶法要が、本寺仁叟寺住職導師のもと修行出来ました事、厚く御礼申し上げます。10連休を利用し、お世話になりました方々へ、一軒一軒御礼のご挨拶に伺わせていただきました。多謝。（龍）